

---

# ありがとう ~ Song of only one love ~

月菜 -Kina-

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ありがとう Song of only one love

### 【Nコード】

N2387D

### 【作者名】

月菜 - K i n a -

### 【あらすじ】

病気で死んでしまった大好きな人に捧げたいたった一つの愛の歌  
「ありがとう」の一言も言えなかったのに愛の歌なんて歌えるのかな？

## P r o l o g u e (前書き)

初めまして。初投稿です。

まだまだ未熟な面もあるとは思いますが  
末永くよろしく願います。

## Prologue

今でも忘れられない君の笑顔  
いつも私に優しさをくれたね

信じていた 君の言葉を  
それが精一杯の強がりだったことも知らずに

君といると いつも優しい私でいれた  
今までそんな人に  
出逢ったこともなかったよ

二人 思い出の場所  
あの時の君の笑顔が蘇り  
ふと となりを見ても  
君はもうどこにもいない

ちゃんと約束を守るから  
君の分まで生きる 生きてみせる

君に出逢わなければ  
一生かかっても分からなかった事が  
きつとたくさんあったね

君といると いつも心が軽くなった  
今までそんな人に  
出逢ったこともなかったよ

君とよく聴いた歌

君が好きだったこの夜の景色  
ふと となりを見ても  
君はもうどこにもいない

戻ってきて

デートで遅れた時みたいにさ  
笑いながらごめんって言つて  
全部許すから…

二人 思い出の場所

あの時の君の笑顔が蘇り  
ふと となりを見ても  
君はもうどこにもいない

「愛」「優しさ」「強さ」「温かさ」  
人を愛するということ

何一つ知らなかった私に

君は大切なことを たくさん教えてくれた

「ありがとう」

そう言つてあげればよかった

## First Story

2007年9月26日

圭月空翔<sup>しいつきあきと</sup> 永眠 享年15歳

君が亡くなったのは私の誕生日。

私の誕生日が来ると哀しくなるんだ。

『空翔はもういないんだよな』って実感しちゃうから。

君はもういないのに、隣にいるんだと思ってしまふ。

最後に君はこう言ったよね。

『俺の分まで生きてくれ』って。

だから約束するよ。無言の約束だけれど。

君の分まで生きてみせるよ。だから見ていてね

文化祭一週間前のある中学校。名前は紫衣<sup>しいな</sup>奈学園。ちなみに女子校で全寮制。

そんなわけで、この文化祭がいろいろな意味で彼氏をGETする貴重な時間になる。

この学校の文化祭はかなり変わっている。

1日目はいわゆる体育祭。2・3日目<sup>2</sup>が文化祭にあたる。

ま、簡単に言うと体育祭も文化祭も一緒にやっ<sup>1</sup>てしまおうというこ<sup>2</sup>と。

2人の少女がいろいろな荷物を抱えて廊下を歩いていた。

少女の名前は宇月桜空<sup>うづき さくら</sup>

もう1人の少女は宇月袖空<sup>うづき そら</sup>

見て分かるとおり2人は双子。でも生まれた日が1日違う不思議な双子。

つけている学級章が違うのでどちらかは分かるものの制服を着ていないと

まったく分らないくらい似ている一卵性の双子。

桜空のほうが事実上は姉に当たる。誕生日は9月26日。

袖空は妹。誕生日はもちろん9月27日。

「ひどいもんだね、亜姫<sup>あき</sup>は……」

「しょうがないじゃん。2クラス合同だから必要なものも多いんでしょ？」

「いいねえ、袖空は悠々自適で……うらやましいわ」

「ふふっ そうかなあ？」

「絶対そうっ!」

2人は会話をしながらゆっくりと教室へと戻っていった。きつとクラスでみんなが待っているから。

この文化祭が2人の運命を変えることを知りもしなかったから。嵐のような恋の始まりが近づいていることを知りもしなかった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2387d/>

---

ありがとう ~ Song of only one love ~

2011年1月16日01時56分発行